

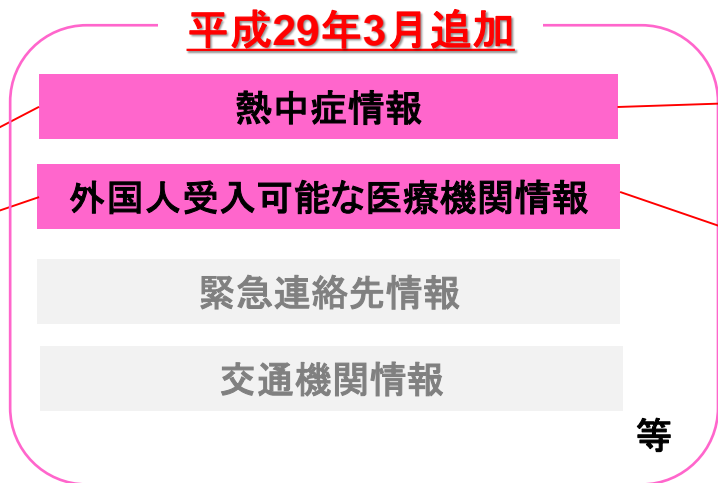
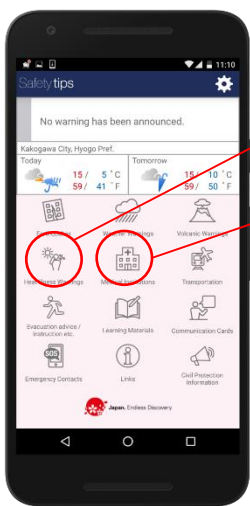
# 観光庁における熱中症関連施策

平成30年10月30日  
観光庁

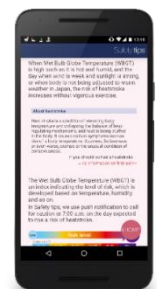


## プッシュ型情報発信アプリ「Safety tips」の機能向上

- ✓ 観光庁は災害情報発信アプリ「Safety tips」に、新たに「熱中症情報」「外国人受入医療機関情報」等の機能を追加し（平成29年3月追加）、外国人等に対し熱中症等関連情報を発信。



熱中症解説・対応フローチャートへ遷移



各都道府県の外国人受入可能な医療機関情報を提供。

5言語(英語、中国語(簡体字/繁体字)、韓国語、日本語)に対応

## 訪日外国人旅行者受入れ医療機関選定

- ✓ 観光庁・厚労省の要件に基づき、外国語診療が可能な医療機関について、平成29年度に追加選定を実施し、全国から新たに約390箇所の医療機関が報告され合計**約1,260箇所**に拡充。
- ✓ リストとして取りまとめ、日本政府観光局(JNTO)のホームページに掲載して情報発信。



医療通訳・外国人向けコーディネーター等が配置された拠点病院や外国人患者受入医療機関認証制度(JMIP)の認証病院だけでなく、診療所やクリニックも含め、外国語診療が可能な「訪日外国人旅行者受入医療機関」(約1,260箇所)を更に充実する。

2018年夏季の取組

JNTO認定観光案内所に対し、「訪日外国人旅行者受入れ医療機関」等の災害・医療関係ツールの情報を熱中症の注意喚起に合わせて提供。宿泊団体、旅行業者団体へも同様に情報提供し、会員施設・企業への共有を依頼。